

広報

# せと

風車のまわるアジな



## “風車”ライトアップで雄姿 夜空に浮きぼり

今や瀬戸町のシンボルとも言える“風車”のライトアップが7/19(水)から始まった。夏休みと共に観光シーズンのピークを迎えるが、夜空に浮かび上がる風車は昼間の姿とはまたちがった趣きでその雄姿を訪れる人々に印象づけることでしょう。

## 今月の主な内容

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 6月議会報告             | 2~3   |
| 地域資源発掘調査           | 4     |
| 高齢者配食サービス事業開始      | 5     |
| 「河野兵市」さん2001年の新たな旅 | 7     |
| 町職員募集他お知らせ         | 10~11 |

## 六月定例町議会

### 主な議案の説明

六月三十日に開かれた定例町議会に、平成十二年度補正予算は十二議案が上程された。

- ▽十二年度一般会計補正予算
  - 瀬戸町農業公園の管理運営を行う新会社設立費用や風力発電事業推進費は、一億一千三百万円を追加補正。予算総額は二十八億七千七百万円。
  - ・農業公園管理会社設立費 一千五百五十万円
  - ・風力発電事業推進費 五百万円
  - ・CATV文字情報システム 二百九十万円
  - ・消防施設整備費 四百五十万円
  - ・グリープリビング整備費 一千二百八十万円
  - ・農業排水路整備費 八百六十万円
  - ・財政調整基金積立 四千万円



清水 太郎 人権擁護委員

審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。また、任期満了に伴う人権擁護委員の推薦について議会の意見が求められ、現委員の清水太郎氏が推薦されました。

### 一般質問(要旨)



佐々木和夫 議員

▽十二年度直診勘定補正予算  
十一年度における診療所の純利益六千八百四十万円を預金するもの。経営状況は引き続き安定しており、預金総額は二億一千三百円となる。

▽人権擁護委員候補者の推薦  
法務省が委嘱する人権擁護委員の候補者を推薦するもの。現委員の清水太郎氏(大久)が全会一致で推薦された。

▽介護保険導入後の在宅介護サービス状況は、リハビリ回数の減少にどう対処するか。

▽旧四ツ浜中学校跡地周辺の道路整備計画は、

井上町長 在宅介護サービス利用者は現在百一名、内訳はデイサービス利用者八十六名、ホームヘルプサービス利用者二十八名、訪問リハビリ利用者十四名。その内、複数のサービス利用者が二十七名の状況。リハビリ回数の減少については、利用者数の増加により個々の利用回数が制限されたもの。今後、利用者の希望に沿えるよう努力する。



旧四ツ浜中学校跡地周辺の道路整備については、地区の合意形成を待っている状況。事業環境が整えば具体的な検討を進める。



阿部 軍治 議員

▽川の浜漁港整備で砂浜を埋め立てる目的は、埋め立てに関し住民協議は必要ないか。

井上町長 川の浜漁港は物揚場、泊地等の港内施設が不十分。施設整備により省力化と経営改善を進めたい。住民協議については、本年四月に区長、地元議員、漁業関係者に計画案を示し同意を得て所要の事務を進めている。





松澤 周作 職員

▽瀬戸アグリトピア構想の概要と目的、効果は。  
▽第三セクターによる風力発電事業の概要と目的、効果は。

▽瀬戸町における少子高齢化対策の内容は。  
▽農業公園運営の第三セクター化の内容と目的、効果は。

三好産業課長 アグリトピア構想の概要は大久保望台山手側に、楽農をテーマとした公園を整備し、「施設型農業の導入」と「都市住民との交流促進」を目指すもの。総事業費は約十五億円です。事業期間は平成十八年度までの七年間を予定。管理運営は「公設民営」とし、現在設立準備を進めている第三セクターを経営受け

近田企画課長 風力発電事業の概要は、旧テッカ局周辺の山頂部に千キロワット級風車6基を建設し、商業発電を行うもの。総事業費は約十七億円。事業主体となる第三セクターを設立し、平成十四年度の開業を目指す。管理運営は電気技術者を含め、二名程度の新規雇用で対応。事業効果として新たな財源創出と集客効果を見込んでいる。



皿として育てたい。事業効果として施設型農業への先導的役割と交流人口の拡大を見込んでいる。

山口福祉課長 出生児数の減少により本町の少子化問題は深刻な状況。後継者の花嫁対策を始め、保育園の四園存続、また奨学資金の貸し付け事業等を行い、育児負担の軽減に努めている。高齢化対策については高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるような仕組みづくりを進めており、具体的には配食サービスや住宅改良支援事業等を実施している。



三好産業課長 農業公園は特産品の販売とモデル温室管理を主業務に、開設以来、町職員二名とパート職員で運営している。今回、第三セクター化する目的は民活導入による農業公園の利用拡大を目指すもの。新会社への出資比率は、町五十九％、伊方サービス十四％、農協、漁協、商工会、伊予銀行、レストラン風車が各五％、特産加工組合ふるさと市運営協が各一％で、出資総額は一千万円。設

立時期は十二年九月一日の予定。なお、新会社に対しては不採算部門であるモデル温室等の管理費として一部運営費補助をしたいと考えている。



(3)

### 地域資源発掘調査

## 地域資源を生かした まちづくり事業スタート

瀬戸町では、町内に隠れている地域資源を掘り起こし、地域資源の開発と資源の活用を調査、研究することによって、地域産業の活性化を図ろうと、「地域資源を生かしたまちづくり検討委員会」をスタートさせた。



この事業は地域の活力の低下が著しく、どのようにして雇用の創出と経済の浮揚を図り、若者を定住させるかが重要な課題となっている。今日、農業の活性化と観光、健康産業の連携による産業育成を地域経済の新たな活力源として位置づけ、佐田半島地域に根ざした地域産業を育てるため総合的に調査を行い、新たな産業づくりに取り組みのめ。

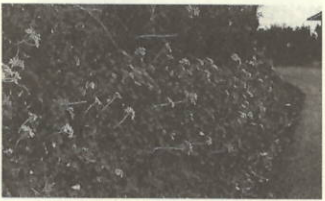
同委員会では、山林資源、海洋資源、歴史民俗文化財、景観資源及び農林水産品資源の専門家四名と行政・団体で構成され、検討を進めていく中で資源が具体化していく過程において関係団体に協力をお願いしたいとしている。六月二十一日、初会合を開催し、資源発掘調査の進め方について話し合った。

資源発掘は二つの方法を進めていく。一つ目は、一年間を通して地域の専門家や住民団体と連携して地域が保有する製造を

伴わない資源の発掘の方法。具体的には町内十五名程度の参加を頂き、町内各地で山林、海洋、景観を散策する自然観察会を開催したり町内の専門家と話をすることにより、町の物知り博士リスト、民話、登録文化財の指定といった

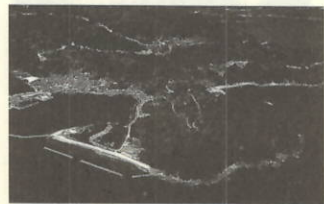
「情報」の商品化を地域資源を保護しながら町のブランドを高めていく。もう一つの方法は、町内の農林水産品や動植物を加工して製造を伴う資源の発掘を行う。

今後三年間かけて行う予定で、初年度は地域資源を発掘して利活用検討する。二年目以降は地域資源の具体的な利活用方法について研究を行い、瀬戸町に「キラリ」と光る産品を作り上げる予定です。



(4)

### 自然観察会のお知らせ



日時：平成12年7月29日(土)  
午後1時30分から  
※須賀公園入口に1時に集合  
場所：須賀公園周辺  
講師：石川 裕先生(県立宇和島南高校教諭)  
水本 孝志先生(フリーデザイナー)  
岡崎 直司先生(フリーライター)

当日は海岸性の植物や潮溜(タイトプール)にいる小動物(小魚、カニ、貝、海藻)などの観察をします。季節柄、必ず帽子を用意し滑りにくい靴をはいて下さい。

※お問い合わせは役場企画課まで  
☎52-0111

# 高齢者配食サービス事業開始

## 栄養バランス考えた食事をお届けします



これが一人分。七夕にちなんで星形コロッケや野菜サラダ・冷うどんにフルーツゼリーと栄養価考えたメニューになっています。

できあがった調理を3人の町登録ヘルパーが一人分ずつにより分け、配膳していきます。



町では、定期的な高齢者に對して、調理が困難な高齢者に對して、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに利用者の安否確認や相談助言を行うことを目的に、「高齢者配食サービス事業」を開始しました。

先の広報で当該事業利用者の募集をしておりましたが、六月二十一日から町の登録ヘルパー三名が、希望のあった二十二名の自宅へ週三回昼食を宅配しています。

そこでこの食事が作られている給食センターを訪ね、利用者の自宅に運ばれていくまでの過程を追ってみました。栄養士による、カロリーの摂取量や栄養バランスを考え、メニューを給食センターで調理し、出来上がった各料理はさらにヘルパーの各手によって、実際に手際よく各戸別の専用の器に盛り込まれています。



是沢幸子さん（三机）のお宅にお届けしました。



大江・志津・小島地区担当の若松さん（三机）は「助かります。おいしいと言われるとうれしくなります。」

この日は七月七日。七夕にちなんだメニューで、星形コロッケにレタス、キウリ、トマト、ワカメのサラダと冷しうどん。いりこ。それに牛乳で、おしそぎ。個々に盛られた食事は専用の容器に密閉され、さらに保温式バッグに納められ、各ヘルパーがそれぞれの担当地区へと運んでいきました。

実施日 毎週、月、水金の週三回  
 利用料 食あたり四百円  
 連絡先 瀬戸町社会福祉協議会、又は役場福祉課  
 ☎五二〇一一

# チャレンジワーク

6/16

## 瀬戸中生88名が職場体験



島津君（3年）他3名は消防署で人工呼吸や消防車の出動訓練、レスキューの指導などを受けました。

もうすぐ二十一世紀だというのに、長らく不況で企業倒産、失業、リストラと、とかく暗い話題が多い世の中。いつになつたら明るい光が見えてくるのか不安な日々です。今はまだ親や地域の温もりに包まれて育っている子ども達も、いずれはこの厳しい現実を目の当たりにすることになるでしょう。その時、いかに強く生きて行けるか、困難に立ち向かって物事に対処しつづけるか、困難に育てるか。親や学校に課せられた共通の課題ではないでしょうか。

瀬戸中では、自分たちの住んでいる瀬戸町の良さを知り、生徒一人ひとりに豊かな感性と現実と直面したときの実践力を身につけようとして、一度、町内の各事業所へ一日職場体験学習を行っています。



「かぞぐるま」の入居者と一緒におもちつきの手伝い

六月十六日、瀬戸中の生徒八十八名が職場体験学習を行ったのは、「大久除療養所」「かぞぐるま」「新見シャツン」「J A瀬戸」「給食センター」「ゴミイサービステーター」「ゴミ焼却場」「消防署」「郵便局」各保育所、個人経営の衣料店、理容・美容室、ガソリンスタンド、飲食店、小売店、水産工場、農園、牧場など町内の実に様々な職種の二十六事業所。

各職場で生徒達は皆、真剣な眼差しでそれぞれの仕事に取り組んでいました。

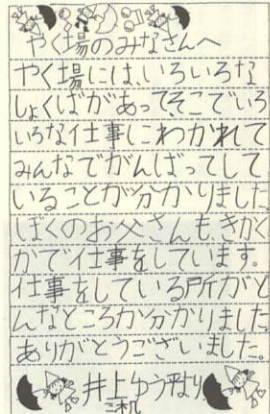
### 生きた学習

#### 小学三年生が「町内巡り」

またこの日、町内の小学三年生二十一名が「町内巡り」を行い、消防署、ゴミ焼却場、高茂牧場、農業活性化センター、役場、町民センターなどを見学し、日頃の学習で学んだ町のいろいろな施設や町づくりについて、実際に「見る」「聞く」という貴重な体験を通して町に対する理解を深めました。



「ゴミ焼却場」でペットボトルのリサイクルされる様子を見学しました。



# テレビで町のお知らせを!

【CATV8chを利用した文字放送を計画】

町民のみなさんへの情報提供は、防災行政無線・広報紙・回覧文書・地区掲示板で行っていましたが、今回新たにテレビ画面を利用してお知らせしようとして計画しています。

これまで、住宅の密閉化が進んでいるため冬場で風が強い場合は防災行政無線の放送が聞こえないとか、広報紙・回覧文書であると毎月決められた日であるためなかなかリアルタイムの情報というものは得にくい状態でした。

その解消策として、CATVを利用した文字放送を予定しています。

当初は、防災行政無線の放送事項や、回覧文書のお知らせ事項を主として実施し、運営の中でみなさんのニーズにあわせた情報提供に徐々に転換していく予定です。

そこで、こんな情報がありまじというリンクエラストご連絡下さい。できる限りみなさんのご希望に答えられる情報にしたいと思っております。

## 北極点から日本へ「REACHING HOME」

河野兵市さん

# 2007年の新たな旅

～15,000キロ

**北極点から故郷・瀬戸町めざす旅**

一九九七年五月、日本人初の単独徒歩による北極点到達を成し遂げ、世界の冒険史に新たな歴史を刻んだ河野兵市さん(瀬戸町川之浜)が、新世紀を迎える来年三月から新たな旅に出発します。

「REACHING NORTH POLE TO JAPAN」



主題歌を作った「サスケ」さんら加わり全員で応援歌を熱唱しました。

### 北極点から故郷・瀬戸町めざす旅

「」とタイトルが付けた旅のテーマは、「生まれ故郷に再び還る」。二十歳のときから始まった河野さんの約二十年間に及ぶ冒険の集大成とも言えるこの旅は、二〇〇一年から六年間をかけて北極点から故郷・瀬戸町までの一万五千里を徒歩で踏破するという壮大なものです。

七月十日(月)夕、これまで河野さんの冒険を陰ながら応援し、支え続けてきた支援者約百名が町民センターに集まり「河野兵市を励ます会」が盛大に催されました。

会場ではこれまでの数々の冒険がスライドで上映され、遠征隊事務局から速報計画についての概要説明がされるなど、新たな旅への理解と支援

を呼びかけました。壮大な計画に冒険への夢と期待で会場には熱気が漂い冒険ムード一色に包まれた頃、河野さんがあいさつに立ち「旅には必ず終わりがある。二十年間の旅のゴールを故郷・瀬戸町に決め、生家で待つ母の元に無事還ってきたい。苦しいときは支えとなつたのは、「ふるさと」の風景と自分を応援してくれた多くの方々の「心」でした。」と語り、支援者への感謝の気持ちを述べました。また、三崎高校生徒会代表二名から遠征支援金が贈呈されると会場から暖かい拍手が湧き起こりました。

河野さんの今回の旅は北極点という地球の原点から故郷に還る旅。それは、鮭(サーモン)が過酷な旅を経て辿り着いた生まれ故郷で再び産卵することを例えて、その旅を通して生命の意味と自然環境をも見つめ、そこに起こりうる様々な実体験を全世界へ向けて情報発信していきたいとしています。

環境問題・自然保護・エネ

ルギー・食糧問題など二十一世紀に向けて我々人類に課せられた課題は山積みされております。河野さんは旅の先々でメッセージャーとなつてこれら数々の重要な問題を我々に提議してくれていることでしょ。地球環境と自然保護の願いを河野さんに託し、夢の実現と旅の成功をみんなで祈りましょう。この旅を河野さん個人、河野さんにとどめず社会レベル・地球レベルの冒険とするために是非とも町民の皆様との協力と支援をお願いします。

三崎町出身のフォーク歌手「サスケ」が作詞・作曲した旅のテーマソング「リーチング・ホーム」のCD(二、一〇〇円)が7/28発売されます。また、「河野兵市」オリジナルTシャツ(三千円)も発売中。

お問い合わせと申し込みは瀬戸町役場企画課内「河野兵市を励ます会」事務局まで  
52-0111

【情報提供予定】  
○行事・催物の案内  
○募集案内

○議会日程  
○役場窓口での手続き等  
○町の各種補助事業の紹介

## 関西瀬戸町同郷会開催のご案内と賛同祝賀広告への協力をお願いします

関西瀬戸町同郷会 会長 谷本照夫

暑中お見舞い申し上げます。

瀬戸町の皆様方に於かれましては、日々ご清祥とお過ごしのことと拝察いたします。

同郷会役員一同は夏を前にしたこの季節の瀬戸町、力の漲った海や空、野山を思い浮かべて故郷への思いを馳せております。

同郷会では、今年も十一月十九日に「第三回関西瀬戸町同郷会交流会」を開催する予定です。只今準備を進めているところであります。

今年は昨年より内容を充実させ、規模も大きくして関西一円に在住しておられる瀬戸町出身者に広く参加を呼びか

けていきたいと思っております。関西在住のお知り合いに同郷会の催しがありますことをお知らせしていただければ大変幸甚に存じます。

また今年の交流会では、連帯をさらに深めるために左記の要綱で、瀬戸町と関西在住の企業、商店、個人有志から賛同の祝賀広告を申し受けることに致しめたい。交流会への参加呼びかけと合わせまして、賛同祝賀広告への協力もよろしくお願ひする次第です。

尚、お暑のみぎり、瀬戸町の皆様方のご健康とご発展をお祈り致します。



- 賛同祝賀広告 申し込みの要綱
- 掲載 第三回関西瀬戸町同郷会プログラム
  - サイズ 横書き(横五十三ミリ 縦四十三ミリ)
  - 広告料 五千円(振り込み用紙で申し受ける)
  - 締め切り 九月末日
  - 申込先 谷本照夫
- 住所 大阪市西区九条南  
四丁目二番十一号  
電話 06(6588)2009  
FAX 06(6588)6116

# 戸籍の窓

平成12年6月分

お誕生おめでとう

本誌 出生者氏名 性別 籍貫

ご結婚おめでとうございます

本誌 籍貫者氏名 籍貫

おくやみ申し上げます

本誌 死亡者氏名 年齢

平成12年6月末現在

- 人口 2,906人 (+1)
- 男 1,323人 (+1)
- 女 1,483人 (+1)
- 出生数 1,163人 (-1)

※広報に掲載不要な方は、届出時に申し出て下さい。

**公的年金で支え合う 世代と世代**

公的年金制度は、「世代間の扶養」で世代と世代の支え合いを基本理念として成り立っています。現役世代が納める保険料が今の高齢者世代の生活を支え、現役世代が高齢者になったときには次の世代の納める保険料が生活を支えてくれるのです。

公的年金制度は私的な個人年金と違い、今納めていただけで備えられたり、一時的に返金されるのではなく、外で遊ぶのが大好きな優です。午前中と夕方の2回は必ず散歩をしているので僕を見つけたら、「一緒に遊んでねー!」お母さんより!

**年金コーナー**

公的年金制度は、「世代間の扶養」で世代と世代の支え合いを基本理念として成り立っています。現役世代が納める保険料が今の高齢者世代の生活を支え、現役世代が高齢者になったときには次の世代の納める保険料が生活を支えてくれるのです。

の年金の財源とはなりません。が、今あなたが保険料を納めた実績が、あなたの受ける年金額の算定のもとになります。

バリバリ働く現役世代が保険料を納めることによって、第一線を退いた年金受給権者世代を扶養し合っていく国民全体の相互扶助制度です。そのため、みなさん一人ひとりの個別の要項すべてにわたることはできませんが、公的年金があることを基本にして、個人貯蓄等を組合せて最後の生活設計をたてていただきたいのです。

公的年金制度は、財政の均衡を保つため最低五年に一度

は財政の再計算が行われるため将来にわたって健全な運営がされることとなっています。年金額は物価スライド調整の導入により、年金の実質価値は確保されますから老後の生活設計の土台として信頼される充分な制度であるといえます。

公的年金制度は、加入者全体で安定した制度を維持し、世代間で相互に依存しあう継続的な相互扶助であり、そして何より年金加入は国民の義務でもあるのです。

年金制度は、皆さん一人ひとりが主人公です。忘れずに届出を、忘れずに保険料納付をお願いします。

**ゆづりやんだより**

去る七月二日、瀬戸町総合体育館でかんばつ財人会ソフトバレー大会が行われました。三〇度を越す猛暑の中、九チームで約百人もの選手が熱戦を繰り広げました。

この大会では特別ルールにより、各チームに郵便局員が入るようになっており、チームに迷惑をかけないよう、局員は必死にプレーしますがやはり足を引く振ることが多く、ご観覧の方に助けてもらうことが多々ありました。

途中、照明が切れるアクシデントがあり普通にご連絡をお掛けしましたが、元気を振り上げた声の中、深呼吸・深呼吸の連続で大盛況の中、閉会

**お礼**

広報の発行費用として次の方々よりご寄付頂きました。紙上より厚くお礼申し上げます。

○遊賀町 他田タエ様  
○四條町 結谷 博子様  
○京都市 西田 武子様  
○松原市 黒田イブチ様  
二宮 敬 様

# わが家の愛のドル

天久 河野 正和 さんの子



この河野 雅功くん (平成10年8月31日生まれ)



川之浜小学校五年 田村 仁くん



瀬戸中学校一年 中西 美咲さん



川之浜小学校五年 田村 仁くん

一年中西美咲

五年 田村 仁

## みんなの作品

何回練習してもいい形になりませんでした。でも、お手本をよく見て「広」がうまく書けたので「場」もがんばりました。うまく書けました。

「桜」という字は、バランスをとるのが少し難しかったです。勢いを大切にして大きく書くことに気をつけました。いい字が書けました。